

# へきけんニュース

平成25年4月10日発行 第46号

**数0154-44-3291 FAX0154-44-3292** ホームページ

http://hekiken.kus.hokkyodai.ac.jp/ 電子メールアドレス

kus-hekiken@i.hokkyodai.ac.ip

学校・地域教育研究支援センター へき地教育研究支援部門 部門長 八木修一 就任のご挨拶

この度、4月1日付けをもちまして、へき地教育研究支援部門の部門長を拝命いたしました八木修一と申します。ご退職なさった前任の村田文江部門長の後を引き継ぐにはあまりにも任が重すぎますが、一生懸命務めますので、よろしくお願いいたします。

さて、へき研の業務は、道へきとの連携をはじめ、道研並びに道研連、各管内のへき地複式教育研究連盟との連携を図り、へき地・小規模校の教育実践を支援していくことです。また、へき地・小規模校教育に関する調査・研究をし、「へき地教育研究」の発刊やDVDなどの各種指導資料を作成しています。さらには、学生のへき地校体験実習を実施し、意欲ある教員を養成しています。詳しくは、へき研ホームページをご覧いただきたいと思います。このように、多くの業務がありますが、どうぞ、これからもよろしくお願いいたします。



### 平成25年度「へき地教育研究計画」を募集します

へき地教育研究支援部門の事業費による「へき地教育研究計画」を、以下のように募集します。

- ① 研究計画の申請
  - \*研究課題は、右の3つの領域に属するものとします。
  - \*研究計画書の請求は、へき研事務室(釧路校B109教室 内線54-291)までお問い合わせください。なお、計画書の様式は、当部門のホームページからダウンロードが可能です。
  - \*研究計画書には、研究目的・内容を具体的に記入して下さい。 また、「へき地・小規模校教育の発展に資する本研究の意義」を 明記してください。
  - \*経費の項目は,「備品・消耗品・旅費・その他」です。
  - \*申請額の上限は、20万円の予定です。
  - \*研究計画書(1部) は,**5月20日(月) 正午**までに,へき研事務室 に提出もしくはメール送信してください。
- ② 研究計画の採否
  - \*予算示達を受けて、7月上旬を目処に決定します。
- ③ 研究成果の提出
  - \*研究成果は、次年度の紀要『へき地教育研究』第69号に投稿する ことになります。原稿の締め切りは、**平成26年5月末日**です。

## **りりりりりりりりりりり** 研究課題

- ・へき地・小規模校教育に 関する基礎的・理論的研究
- ・ へき地・小規模校教育に関 する実践研究(実践報告を 含む)
- ・ へき地・小規模校教育にか かわる地域研究

# 『へき地教育研究』第68号の投稿締切について

- (1) **平成24年度に採択された研究計画の成果の投稿締め切りは、** <u>平成25年5月末日</u>です。『へき地教育研究』執筆要項(ホームページ参照)に基づいて、紀要原稿提出用紙を添付の上、へき研事務室に提出してください。
  - なお、紀要原稿提出用紙に関しましては、へき研事務室へお問い合わせください。
- (2) 研究費配分の有無にかかわらず、自由投稿を歓迎します。詳細はへき研事務室にお問い合わせください。

#### 研究紀要『へき地教育研究』第67号の発刊について

今年1月に『へき地教育研究』第67号を刊行いたしました。入手を希望する場合は、へき研事務室にご連絡ください。なお、本誌は当部門のホームページからも閲覧が可能です。

#### へき地教育研究 第67号 2012

#### 論文

問題解決の授業による算数科「複式授業」の改善

- 「同時間接指導」の時間の活用を通して-

早勢 裕明

へき地小規模校における少人数・複式授業運営の基本的観点

玉井 康之

障害のある子どもと地域をつなぐ教師の役割

ー津別町における特別支援学級の実践から考えるインクルーシブ教育- 二宮 信一・大友 浩美・手代木 了

「うらほろスタイルふるさとづくり計画」の成り立ちとその現代的意義

一「地域に根ざした学校」論・「地域に根ざした教育」論の立場から一

宮前 耕史

#### へき地・小規模校教育フォーラム

卒業後にふり返る「へき地校体験実習」

#### へき地・小規模校教育フォーラム「『へき地校体験実習』で学んだこと」を開催しました

平成25年3月25日、北海道教育大学札幌駅前サテライトで当 部門主催のフォーラム「へき地校体験実習で学んだこと」を開催し ました。

本学の眞田雄三センター長の開会挨拶に続き、札幌校2年の阿部陽菜さん、及川史聖さん、旭川校2年の藤澤茜さん、富山陵さん、釧路校2年の中村萌子さん、佐々木晃大さんの6名から実習校の特色や実習内容の紹介、子どもたちとの触れ合いで学んだこと、学校と地域との関係などについて発表されました。

第Ⅱ 部は、この発表をもとに、コメンテータとして田中緑校長先生(士別市立上士別小学校)と永澤篤研究主幹(北海道立教育研究所)をまじえて、フロアの学生や教員、卒業生、元教員、関係機関の方々とともに、今後の「へき地校体験実習」のあり方等について活発な意見交換が行われ、盛会のうちに終了しました。



## 平成25年度 へき地教育研究支援部門 メンバー紹介

今年度のへき地教育研究支援部門のメンバーは以下の通りです。よろしくお願いします。 平成25年4月1日現在

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
センター長	眞田 雄三	理事	センター員	川前 あゆみ	釧路校
部門長	八木 修一	釧路校		廣田 健	釧路校
センター員	前田 賢次	札幌校		戸田 竜也	釧路校
	根本 直樹	函館校	共同研究員 (へき地教育アドバイザー)	梅木 登喜雄	札幌校
	小出 高義	旭川校		宮武 一典	旭川校
	小谷 克彦	旭川校		松野 孝	釧路校
	坂井 誠亮	旭川校	事務担当	川瀧 将之	総務課
	竹本 克己	旭川校		原 愛子	釧路校